

ボランティアの先生を紹介します

VOL
19

今井 伸子先生

先生の本校でのボランティア歴は、ひまわり農場の除草ボランティアに始まります。デザイン関係の仕事(雑誌編集と広告関係)を主に自宅でしている先生にとって、ひまわり農場の除草は自然にふれる時間であり他のボランティアとのプチ交流の場でした。やがてひまわり本体の活動にも興味を示されるようになりパソコンを活用してのデザインや編集を子ども達に教えてくださるようになりました。

聞き上手の先生は誰のお話でも笑顔で聞いてくださいます。先生の周囲にはいつも笑顔と笑い声が絶えません。先生は、今後専門分野を中心に子ども達への指導に多くの時間を割いてくださる予定です。今後の更なる活躍が期待されます。

趣味はバレーボール、カラオケ、スポーツ観戦です。岐阜県出身 青葉区在住

新たな子ども支援構想「ひまわり学園」の設立へ

不登校の子どもたちは学校に「行かない」のではなく「行けない」のであり、学校への登校を全て拒否するものではありません。多くの子ども達は学校に行けない現状に不安を抱き、結果的にゲームなどへの逃避行動に及んでおります。そのような子ども達に対して本校では、学習内容や時間を子ども達が自らが計画して学習を進める「プレスクール」システムを実施してきましたが、子ども達が自分で学習計画や学習時間を立てるこのシステムは「易きに流れがち」であることを危惧する意見もありました。そこでこのシステムに加えて学習時間や内容などを教師が提案する新たな学習の場である「ひまわり学園」を設立することになりました。「ひまわり学園」は1授業を30分に短縮する他に必須科目、選択科目制を取り入れるなど、より学校の授業に近い形式を取り入れて学習を進めます。

ひまわりの現況

開校日：月・水・金・土 / 10時～14時30分

生徒数：(約)60名 / 支援者数：(約)20名

時程：10時開門(学習)、12時昼食(食後レク)、

12時半(校長タイム)、1時15分(フィールドタイム)、

2時半(帰りの会)(下校)

通信制：ゲームから教科学習までひまわり目線の指導



ボランティア募集

内容：子どもの見守り、学校事務など

条件：週一回以上勤務可能な方

以上のような方を特に求めています。

*ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、渡辺(090-9201-3992)までお気軽にお問い合わせください。最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/> と Facebook にてアップデートしています。

ボランティアスクール

「横浜みどりの学校ひまわり」



ふれあい

学校だより 2023年9月号 No.61

こんな学校があってもいいかも

(既存の教育にとられない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、11年前に開設されました。

学校で悩み苦しむ子ども達を救う

校長 渡辺 正彦

12年を経過した本校の設立時の目標は、「学校で苦戦している子どもの支援」でした。12年を経過した現在、本校利用者の99パーセントが不登校の子ども達であり、その多くはASD(自閉症スペクトラム)とよばれる発達障がいを持つ子ども達です。ASDの中でもアスペルガー症候群の子どもが圧倒的に多く、彼等の多くはHSC(ハイリーセンシティブチャイルド=五感に過敏な個性の子ども)です。彼等は知的能力は概して非常に高く超難関私立学校の在籍者も少なくありません。

過去には小学4年生で微分・積分を理解する子どもやベートーヴェンのように絶対音感を持つ子どもも存在しました。

高知能、高能力を有する彼等を学校教育に合わない(不登校)と片付けてしまうのはあまりにナンセンスであり社会的損失やダイバーシティの観点からも受け入れることはできません。彼等の生まれ持った特性を理解して有効活用することこそが現代社会に課せられた課題です。

優秀な彼等はなぜ学校に行けなくなってしまうのでしょうか。

- ・人間関係の構築が苦手。人の心を推測したり相手の気持ちを推し量るのが苦手なのです。
- ・興味・関心が狭く深い。興味や関心が特定のことに集中して深いため学校教育のように各教科を総合的に学ぶことに苦痛を感じるのです。
- ・完璧主義や白黒傾向。学校のテストで満点でなければ納得しない。白か黒かで判断をしてしまい、グレーの存在を認めない。(まあいいかの納得が苦手)

その他にも騒音や臭いに過敏なため学校の環境になじめない子どももおります。

運動会の徒競走にはエントリーできてもリレーの選手は辞退する。(子どもの個性を理解していない担任教師は、走行能力のある彼をリレーの選手に薦めるが、本人はそれが苦痛で不登校になってしまう)徒競走には出られてもリレーの選手を頑に辞退する心理は、自分の不振でチームに迷惑をかける事への不安からです。

ひまわりに来る不登校の子ども達に共通することは、「能力が高い」「完全を目指す」「他人を思いやり過ぎる」「特定の事に興味が集中する」などです。

「能力が高い」「思いやりが強い」「最後まで完全にやる」「研究心が高い」こんな素晴らしい子ども達を現行の学校教育の制度になじめないからと不登校という名の下に教育から外すことがあってはなりません。マイノリティーやダイバシティをキーワードに教育改革の推進(多様な指導法)が望まれます。

こんなことしました！（活動報告）

地域連携活動

地元しらとり台自治会のふるさと夏祭りの模擬店のお手伝いをしました。ひまわりは、地域自治会、商店会などに加入して、地域の一員として活動しております。



スイカ割り
余暇活動でスイカ割りをしました。



恩師が激励に来校

中学校で苦戦をしている生徒の話を目にした小学校時代の恩師がかつての教え子のために来校して励ましました。ひまわりは、あらゆる方策で子ども達を支援しております。



教職一年目の報告会

昨年までひまわりボランティアで活躍していた鈴木海斗先生が中学校の教師になりました。当日は新人教師の奮闘と苦悩の生々しい報告があり、応援に駆け付けた卒業生とも再会を喜びあいました。

卒業生によるホームカミング

ひまわり卒業生が一堂に会して近況報告や将来の夢を語り合いました。現役生へのアドバイスやエールを送りました。



ひまわり農場のゴーヤ

ひまわり畑でゴーヤが採れました。熟れた黄色いゴーヤを割ると、真っ赤な種子があらわれて、みんなで試食し、味わいました。

中堅教員研修

横浜市教育委員会の依頼により公立学校の教員の研修が本校で実施されました。公立学校教員がフリースクールの実態を理解して、連携の糸口をつかむ意義のある研修でした。



スクールソーシャルワーカー研修会

本校で教育委員会所属のスクールソーシャルワーカーの研修会が実施され、当日は6名のスクールソーシャルワーカーが本校の子ども支援システムについて研修をしました。



こんなことしてみます！（活動計画）

地域行事へ参加します

毎年実施される青葉区福祉まつり、青葉台南商店会のイベントに今年も参加予定です。バザーや模擬店での焼きそば販売には、子ども達が販売員として活躍します。

ふれあいレストラン

ひまわり版「子ども食堂」でもある「ひまわりふれあいレストラン」は神奈川フードバンク寄贈の食材を活用して子どもとボランティアが協力して調理します。

配布パンの有効利用

神奈川フードバンク、ヤマザキパン（株）の好意により毎月菓子パンの配布を受けて子ども達への配布やイベント時に活用しております。また地域老人家庭への配布など「地域の絆づくり」に活用しております。



ひまわり農場の
パパイヤの木

トピックス

横浜市都市整備局担当の「横浜ひとまちデザイン賞」に本校が推薦を受けてエントリーされました。エントリーの理由は、本校の活動がまちづくりやまちの活性化に貢献しているとの理由でした。